

藤井ゼミ・オリエンテーション

2016/04/08 @106演習室

木下 和樹

➤ 今日の話題

✓ **2部構成**

■ **オリエンテーション**

■ 諸連絡

■ 自己紹介

■ カリキュラム決定

■ **P C 講座**

■ Excel

■ Power Point

➤ オリエンテーション

✓ 諸連絡

➤ オリエンテーション

✓ **自己紹介タイム**

■ かるくお願いします。

カリキュラム決定

✓ **藤井ゼミの伝統が途切れた！？**

- 実証分析から企業分析へ。
 - 今までのノウハウが通用しない。
 - 誰が後輩に教えるのか。

- 大勢の新ゼミ生
 - ここ数年のやり方は通用しない
 - 来年も多いのでは？

➤ カリキュラム策定：目標設定

✓ 伝統とは継承されるノウハウである

継承すべきノウハウを作ること

- 継承すべきノウハウとは？

ノウハウを継承するシステムを作ること

- システムとはどのような形か？

➤ カリキュラム策定：目標設定

✓ 具体的なゴールは「立派な4回生」

共同研究を成功させている

- 成功させるために、きちんと企業分析を教えることが必要

後輩の教育ができる

- 教育のシステムを作ることが必要

➤ カリキュラム策定：目標の設定

✓ **目標は2つある！！**

継承すべきノウハウを作ること

- 無理なく効率よく企業分析を教えることが必要

ノウハウを継承するシステムを作ること

- 教え方のシステムそのものを作ることが必要

無理なく効率よく
企業分析を教える

➤ 無理なく効率よく企業分析を教えるために

✓ 必要なのは3つのスキル

1. 基礎的な財務分析スキル

- 財務諸表論、簿記

2. 企業分析スキル

- 外部/内部環境などフレームワーク
- ビジネスモデルなどの知識

3. 仮説思考

- 自分なりの「仮の答え」を作る

➤ 無理なく効率よく企業分析を教えるために

✓ 定型 / 非定型のスキルが混在している

1. 基礎的な財務分析スキル

- 財務諸表論、簿記

2. 企業分析スキル

- 外部/内部環境などフレームワーク
- ビジネスモデルなどの知識

定型

3. 仮説思考

- 自分なりの「仮の答え」を作る

非定型

➤ 無理なく効率よく企業分析を教えるために

✓ 理論と実践が必要

■ 定型スキル

- 本を読めばわかる
- 『財務諸表分析』
- 『ゼミテキスト』

■ 非定型スキル

- やって見てわかる
- 合宿
- 3回前期ゼミ

理論

実践

➤ 無理なく効率よく企業分析を教えるために

✓ 年次ごとの達成目標を決める

2回生

- 研究の方法がわかる（スキルを得た状態）
- 理論/定型

3回生

- 研究ができる（仮説思考が身についている状態）
- 実践/非定型

4回生

- 共同研究の経験を生かして、教育ができる

➤ 無理なく効率よく企業分析を教えるために

✓ **2回生：スキルを知ること、使うこと。**

■ **前期ゼミ：桜井『財務諸表分析』**

■ スキルを一通り得る。

■ ラストの2回くらいで、二人一組で実践。

■ **後期ゼミ：ケーススタディ**

■ 試しにやってみる。学びをアウトプット。

■ 4回生がサポート。

➤ 無理なく効率よく企業分析を教えるために

✓ 3回生：思考を実践する。

- 前期ゼミ：大津『経営分析入門』
 - テキストを参考にケーススタディ
 - 各人2回発表（中間報告と最終報告）

- 後期ゼミ：共同研究
 - 雑事は4回生がやること（ここ重要）

教育システム作り

➤ 教え方のシステムそのものを作ること

✓ 学年ごとの「つながり」を作る

■ 藤井ゼミの先輩後輩のつながりは薄い？

■ 共同研究のサポート、就活など、関わり方はいくらでもあったはずなのに。

積極的に関わるキッカケを作らねば。

➤ 教え方のシステムそのものを作ること

✓ 暇な4回生に仕事を与えよ

- 例年4回生は座ってるだけ
 - 貴重なリソースが浪費されている
- 前期：フィードバックに力を入れる
 - 就活に差しさわりない程度に
- 後期：メンターとして活躍
 - 2回生の面倒を主にみる

➤ 教え方のシステムそのものを作ること

✓ **合宿が大変重要になる**

合宿は「つながり」のキツカケ

- 一緒にやる、教えること

合宿は企業分析の実践の場

- 短期間で確実に叩き込む

➤ 教え方のシステムそのものを作ること

✓ 3つのスキル（再掲）

1. 基礎的な財務分析スキル

- 財務諸表論、簿記

2. 企業分析スキル

- 外部/内部環境などフレームワーク
- ビジネスモデルなどの知識

3. 仮説思考

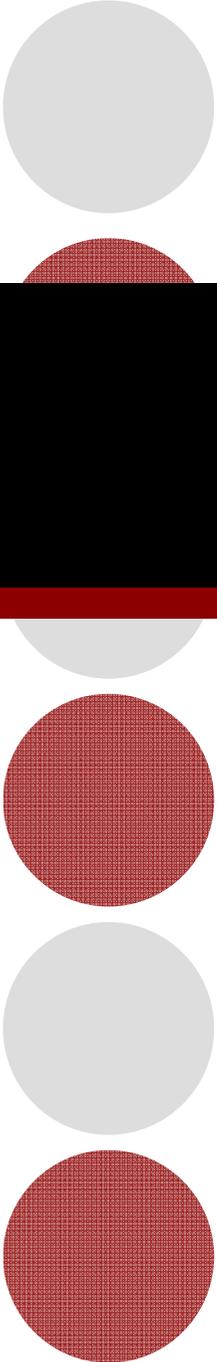
- 自分なりの「仮の答え」を作る

合宿の課題

✓ **再生産システムの型を1年で作る**

- 2回生の基礎固めを確実に
- 3回生に実践の場を与える
- 4回生は積極的に教育に取り組む

- インフラを整備すること
 - テキストを作ること
 - 教育の仕組みを作ること



PCスキル講座

4月8日 @106演習室
木下和樹

✓ 本日の目次

■ Excel

- データの扱い方
- グラフの作成

■ Power Point

- スライド作成の原則
- 体裁の整え方

Excel編 データの扱い方

➤ Excel : データの扱い方

✓ **Excelファイルの作り方が重要**

- データを集める際の集め方がある。
- ある種のコツが存在し、これをわかっていないと事故につながる。
- データベースとしての利用法

➤ Excel : データの扱い方

✓ **データベースの概念を理解せよ**

- データを統合的に管理するための技術
- 冗長性の排除
 - 複数の同じデータが存在するのは無駄
- 保全性の確保
 - 同時アクセスでもデータに矛盾が生じない

➤ Excel : データの扱い方

✓ **データは一か所に集める**

- 同一ファイル内に、同じデータを2個以上記録してはならない
 - データを変更した時にめんどい
 - データがずれるかもしれない

➤ Excel : データの扱い方

✓ **データファイルは一つにせよ**

- データを集めるときは、元データは一つのファイルに集める
 - クラウドの利用
 - バージョン管理
 - 安易なコピー禁止

➤ Excel : データの扱い方

✓ **保存形態を考える**

- 後でどのように使うかを考えておく
 - 年度ごとにシートを変える
 - 企業ごとにシートを変える

Excel編 グラフの作成

➤ Excel : グラフの作成

✓ **グラフ作成**

➤ Excel : グラフの作成

✓ **データに応じた適切なグラフがある**

- データの種類によって、グラフの種類を変えるべし
 - 金額 : 棒グラフ、積み上げ棒
 - 割合 : 折れ線グラフ、円グラフ

Power Point編 スライド作成の原則

➤ Power Point : スライド作成の原則

✓ **スライドには基本原則が存在する**

■ 目次 > 小見出し > スライド

■ 1スライド、1トピック

■ 5行以内に収める

■ 結論はマメに繰り返す

➤ 現在話しているテーマ

✓ **結論**

■ **結論の説明**

Power Point編 体裁の整え方

➤ Power Point : 体裁の整え方

✓ **スライドを作ろう**